### 南極点単独徒歩到達報告書2019 日本初メスナールート918km踏破



写真:南極点にて

#### Masatatsu Abe

# 阿部雅龍

夢を追う男 人力車夫 冒険家



秋田県出身。秋田大学在校中から冒険活動を開始。

100年前の同郷の探検家白瀬矗中尉の足跡を伸ばしての人類未踏破ルートでの南極点徒歩到達を目指す。 21歳より冒険活動を開始。著書に学校推薦図書『次の夢への一歩』角川書店がある。 普段は資金稼ぎとトレーニングを兼ねて浅草で人力車業を営む。

Mail: info@jinriki-support.com

Facebook: https://www.facebook.com/garyu.keepsmiling/

Twitter: https://twitter.com/ MasatatsuAbe

Instagram: https://www.instagram.com/masatatsu abe/

阿部雅龍活動事務局『人力チャレンジ応援部』: http://jinriki-support.com/

#### 挨拶と概要

いつも応援して頂き有難うございます。人類未踏のしらせルートでの南極点徒歩到達を目指す阿部雅龍です。

2018年11月から2019年1月にかけて南極を冒険して参りました。荷物を積んだ110kgのソリを引き、55日間、918kmを単独で南極点まで歩き抜きました。

日本人初踏破となるメスナールートと呼ばれるルートを使用しました。1989年にイタリア人の世界的登山家ラインホルト・メスナーがドイツ人冒険家アルブド・フックスと共に世界で初めて徒歩による南極点到達を成し遂げた際に使用したルートです。

過去に例のない豪雪に大きな苦労を強いられ、多くの冒険家がリタイアしていくなか、最後まで諦めずに南極点に到達する事ができました。

一度、南極点に立った事で更に難易度が高いしらせルートの踏破に確かに近付ている事を実感しています。次はいよいよ最終目標である南極点に挑戦します。(2019年10月予定)

応援して下さる皆様の声に背中を押して頂き阿部雅龍はこれからも剛直に進み続ける所存です。 引き続きの応援を宜しくお願い致します。

Keep Preaming. Keep Smiling!

### 日程とルート

2018年 11月9日 成田空港から出国

11月11日~19日 経由地の南米チリ・プンタアレーナスで最 終ミーティング及び食料手配

11月19日~11月23日 南極にあるベースキャンプ・ユニオングレ イシャーで出発点行きの飛行機待ち

11月23日 南極海岸線ロンネアイス棚氷より出発

2019年 南極点到達 1月16日18時23分 日本時間17日6時23分

1月26日 成田空港に帰国

徒歩日数:55日 総距離:918km



#### 朝氷床深層掘削は1 第2期掘削は2007年 ♥・シャクルトン山脈 Swackleton Range 70万年にさかのぼる 上車隊はシャクルトン基地を57年11月24日に出発、科学調査を 行いつつ南極点を通って58年3月2日にスコット基地に着いた ロンネ棚氷 一方ヒラリー御の率いるロス海からの支援隊は57年10月14日に スコット基地を出発し、翌年1月5日に南極点に着いた 2019/1/17 06:20 南極点到達 到達した。翌年1月17日にイギ 全員が遺離死した。米陽は57 国際地球観測年(1957-58)を契機として、米国 はロス棚氷や西南極の調査旅行を購力的に行い バード基地では1968年1月に基盤までの氷床掘削 公益財団法人 日本極地研究振興会 3000 2500 標高: 2850m 2000 [m] 1500 1000 500

200

400

600

距離 [km]

800

1000

#### 南極での平均的な 1日のスケジュール

08:00 起床 朝食 行動中の水作り(3リットル)

09:00 ベースキャンプと電話交信

09:05~09:30 テント撤収とソリパッキング

09:30~20:30 徒歩 日により10~12時間歩く

20:30 テント設営

21:00 テント内部の荷物整理

21:30 水作り(2リットル) ベースキャンプに GPSポジションを送信

21:30~22:30 食事

22:30~23:30 日記 SNS更新 ルート確認

24:00 就寝

#### 冒険経過1



成田空港より出国



チリ・プンタアレーナスを経由 冒険食料を現地で手配 南極では1日6000kcalを摂る



軽量化のため、ドリルで 歯ブラシを肉抜きする



南極行きの飛行機 ロシアの払い下げ軍用機イリューシン



南極のベースキャンプ ユニオン・グレイシャー

#### 冒険経過2



シェアチャーターした小型プロペラ機でスタート地点へ 単独徒歩開始



過去に例がない異常な積雪 膝まで雪に埋まりながら 110kgのソリを引く



連日のホワイトアウト 最大1週間太陽を 見ることがなかった



例の無い雪でペースが伸びず 道中にある食事備蓄庫よりの 補給を余儀なくされる



行程後半は寒波に襲われる 気温-30℃に加えて強風 体感-50℃の中を歩く



単独南極冒険の相棒 犬型ロボットaibo 7

### 冒険経過3



ハロ(丸い虹)の中を歩く



毎日長時間行動 股擦れで太腿から血が滲む



日々の日課 太陽に二礼二拍一礼



南極点に到達して帰国 帰国すぐの記者会見



帰国後、東京での南極報告会 300人以上が会場に集まる

### 収入支出表

収入			
	金額	詳細	
スポンサー企業からの支援額総額	5,000,000	支援企業様より	
クラウドファンディング支援	2,866,500	クラウドファンディングサイト集計額よりサイト使用料を引いた金額	
個人からの支援金額総額	2,010,849	個人様からの支援金	
壮行会チケット売上	1,569,240	出発前の板橋と秋田の壮行会チケット売上	
総計	11,446,589		

出費		
	金額	詳細
南極飛行機シェアチャーター費	7,601,171	チリ-ベースキャンプ 南極点-チリの飛行機
南極冒険ソリ制作費	1,512,000	町工場南極ソリ制作
トレーニング費	770,159	カナダ・ウィニペグ凍結湖(1月)、人力車秋田一周(5月)
装備費	347,458	冒険で使う装備
雑費	314,441	クラウドファンディングリターン、封筒、切手の購入など
荷物超過	219,000	日本-南米間の飛行機荷物超過
通信費	164,416	衛星携帯電話の通話料通信料
宿泊費	149,633	南米チリでの滞在
食費	136,028	南極冒険食料およびチリでの食事
保険代	61,668	
総計	11,190,706	(装備品などの協賛品の金額は除く)

#### 協賛協力企業一覧(順序不同)

応援企業







彩秋田料纺板

支援企業











協力企業•団体











**A&F CORPORATION** 









## 南極ソリプロジェクト





Made in Japanのオリジナルのソリで南極点に立ちたいという思いに賛同して下さる東京都板橋区と新潟県長岡市を中心にした町工場のおやっさんと作り上げたソリ。 写真右端が発起人の株式会社松本精機代表・鈴木敏文氏。

南極ソリ制作支援企業(順序不同)



Centaurus Works Inc.







### 南極•遠征基礎情報

#### 南極大陸

- 面積は1400万平方km オーストラリアの2倍。
- 平均2000mの氷で大陸が覆われているために南極点の標高は2830m。また南極には横断山脈があるため、南極最高峰のビンソンマシフは4892mにもなる。
- 世界でも最も強風の土地。カタバ風という吹き降ろしの風が恒常的に吹いておりヒドい時には風速100mにもなる。
- 世界で最も寒いのが南極。ボストーク基地では-89℃を 観測したことがある。標高が高いので気圧が低下し気温が 下がる。

#### 南極遠征

- 犬ソリではなく人ソリ。南極条約により現在はイヌの持ち込みは禁止されている。2018年は約50日分の食料を積み込んだ100kg以上のソリを引いて毎日10時間程度歩く。
- 前述のカタバ風が南極点から吹き下ろすので常に向かい 風の中を歩くことになる。
- 衛星電話回線を使いGPS位置情報と現状をSNSのでリアルタイム発信する。
- 低温下の中、長時間の激しい運動をするので毎日6000 キロカロリー以上摂取する。バターを1パック毎日摂取など。
- コンパスは南極点ではなく南磁極を指す為、太陽と時計で 方角を判断する。





### 白瀬中尉の夢を継ぐこと

阿部が最大の目標としているのは、100年前に日本人として初めて南極を探検した同郷秋田出身の探検家・白瀬矗中尉の最南到達地である大和雪原(南緯80度5分)を踏み、彼の未踏破ルートを引き継いでの南極点徒歩到達である。白瀬矗中尉 辞世の句。

「我れ無くも かならず探せ 南極の 地中の宝 世にいだすまで」 彼が地中に埋めた宝は、僕らの先人から引き継がれる挑戦 心なのではないか。

彼の地中の宝をいま掘り出して、日本国旗と白瀬南極探検隊の探検旗を翻すことで、人の夢が引き継がれる事を証明し、未完の夢を完結させる事が阿部の人生賭けての目標である。

#### 白瀬矗中尉について

白瀬 矗(しらせのぶ) 1861年~1946年出身 元陸軍中尉 秋田県出身 南極探検隊隊長

南極観測隊の砕氷船しらせは彼の名前に由来するとも言われる。アムンゼン・スコットと同時期に世紀の南極点争奪レースに探検隊を組み、日本人として初めて南極を探検。

1912年1月28日。南極点まで行くのは非常に困難と判断し、 最南到達地を大和雪原(南緯80度05分、西経156度37分)と 命名し、隊員全員と無事帰国。



白瀬矗中尉

# 2019年冬予定 最後の冒険の夢 人類未踏しらせルートでの南極点到達

人類未踏の白瀬ルートによる 南極点無補給単独徒歩到達1200km 想定日数70日間。

食料・装備を積んだ約130kgのソリを引き、 誰も同伴しない単独スタイルで、道中で飛行 機による食料・装備の補給を受けずに白瀬中 尉の最南到達地である大和雪原を超えて南 極点まで歩く。(ルートは多少の変動の可能性 あり)

ルートの半分近くが人類未踏破。

#### スケジュール予定

2019年10月下旬

チリ経由でスタート地点へ

2019年11月初旬

南極点へ向け徒歩開始

2020年11月初旬

大和雪原 白瀬南極探検隊最南到達地

2020年1月下旬

南極点へ。飛行機でピックアップ。

2020年2月上旬

帰国

